韓国のFTA戦略と
企業経営のグローバル化

ソウル大学国際大学院

教授　金顯哲

[略歴]

- ソウル大学経営学部・同大学院卒業
- 韓国公認会計士
- 慶應ビジネススクール経営学博士
- 名古屋商科大学助教授・筑波大学准教授など歴任

[著書]

- CVS革新(有斐閣)
- 最強企業のつくり方(ユナイテッドブック)

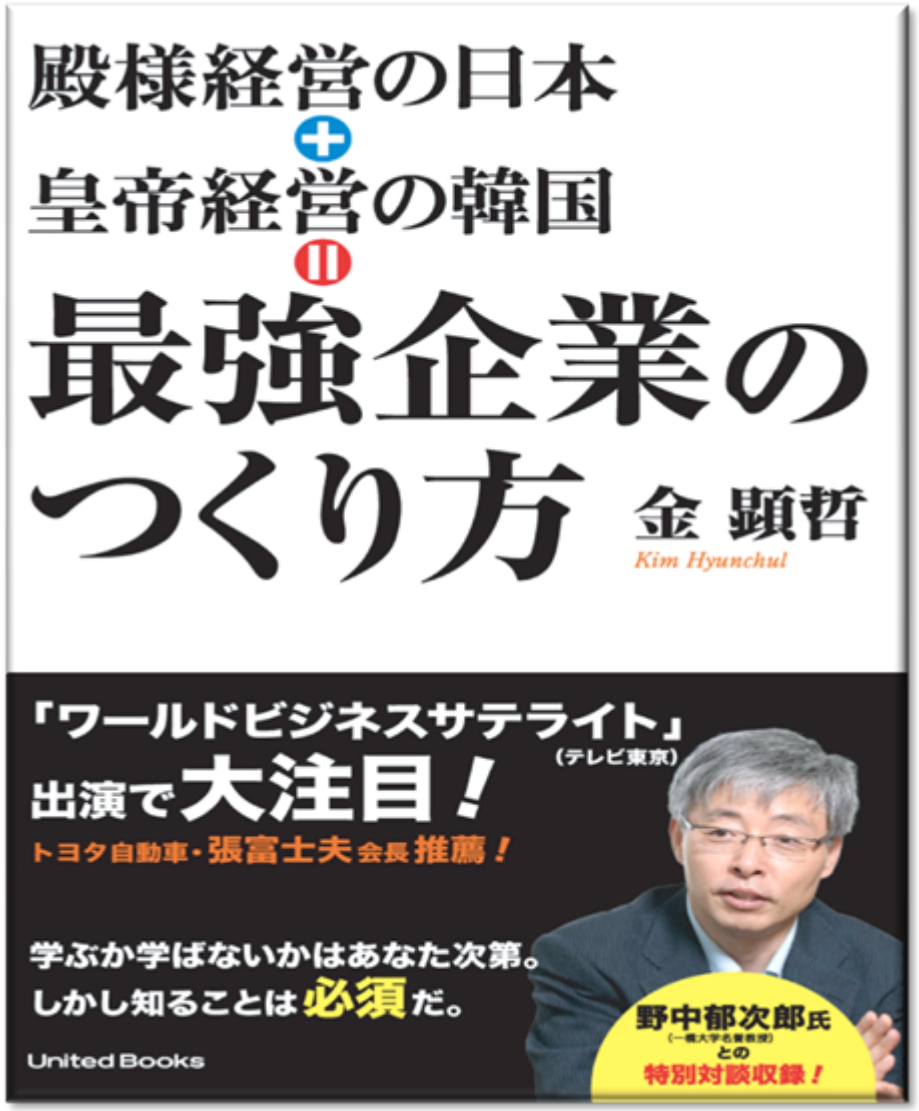
[企業教育・諮問]

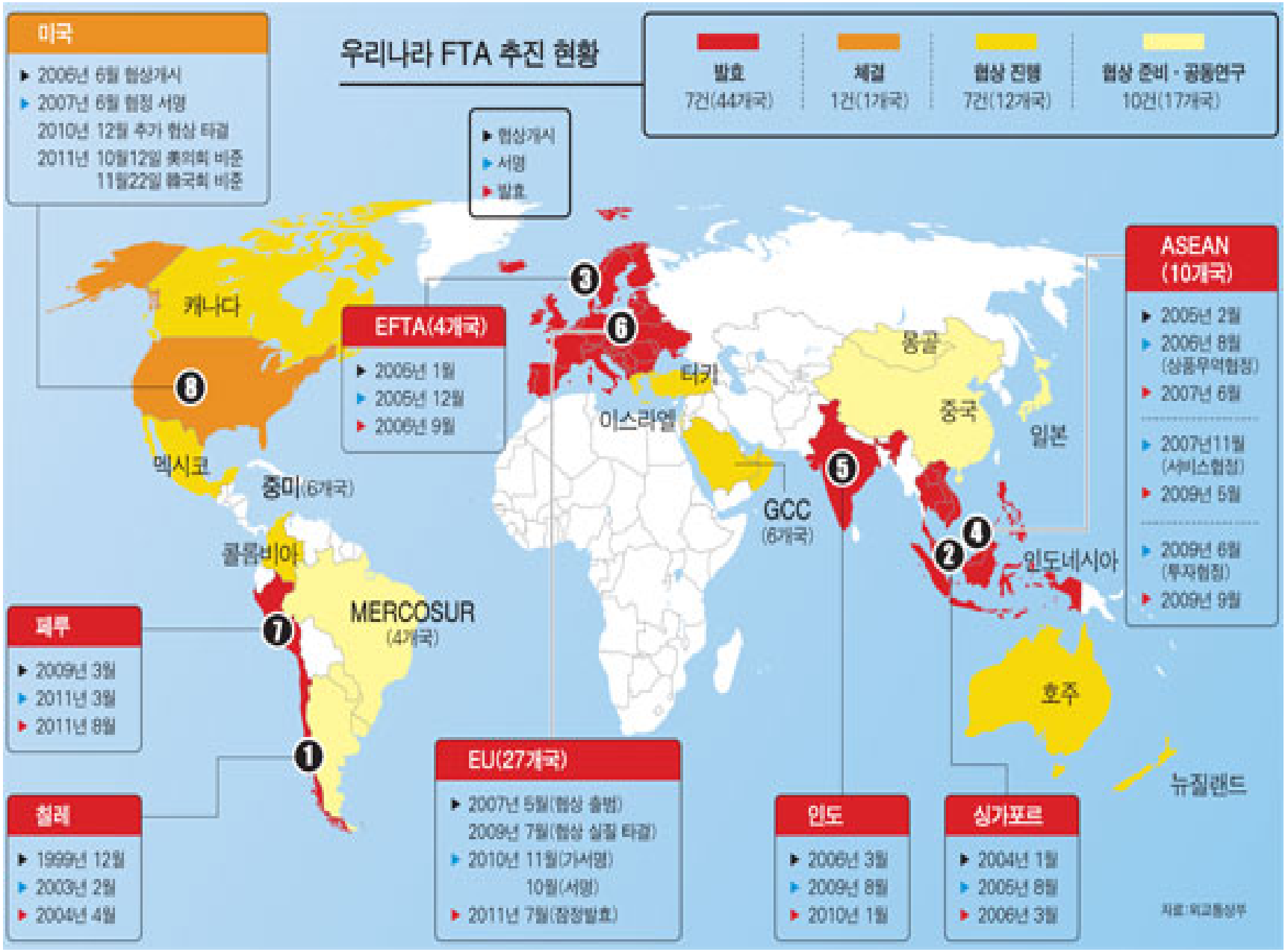
- 日本 : 新日鉄・トヨタ・日産・キャノン・富士通・アサヒビール・花王・富士ゼロックス・ワールド・紀文食品など
- 韓国 : 三星電子・三星電気・三星カード・現代自動車・SKテレコム・LG CNSなど

目次

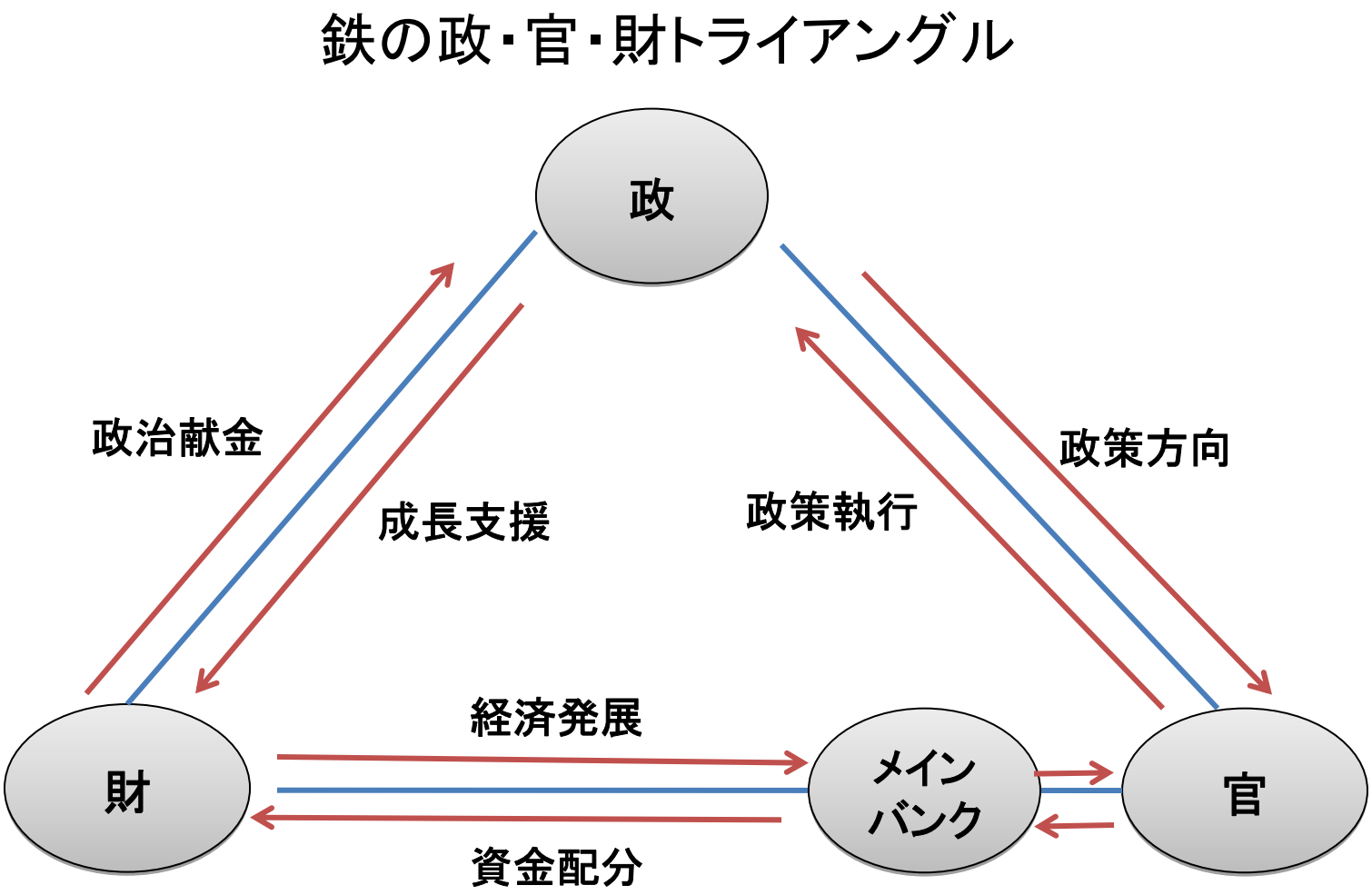
- FTA優等生の韓国
- 韓国企業のグローバル化への道
- 日本企業への示唆

拙書

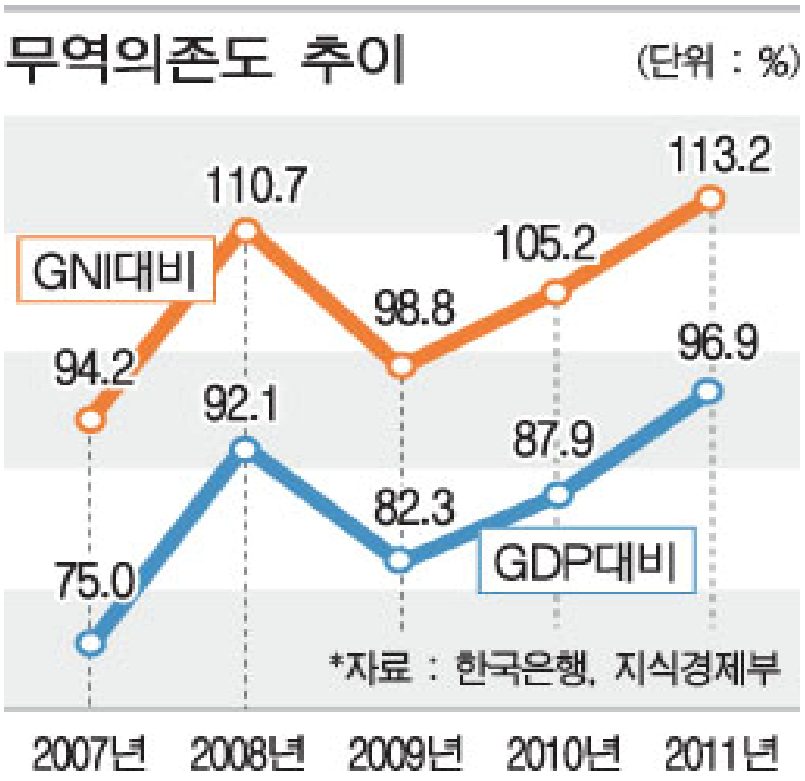

殿様経営の日本
＋
皇帝経営の韓国
＝
最強企業のつくり方
金 顕哲
Kim Hyunchul
「ワールドビジネスサテライト」
（テレビ東京）
出演で大注目！
トヨタ自動車・張富士夫 会長 推薦！
学ぶか学ばないかはあなた次第。
しかし知ることは必須だ。
United Books
野中郁次郎氏
との
特別対談収録！


우리나라 FTA 추진 현황
발효 7건(44개국)
체결 1건(1개국)
협상 진행 7건(12개국)
협상 준비 · 공동연구 10건(17개국)
미국
▶ 2006년 6월 협상개시
▶ 2007년 6월 협정 서명
2010년 12월 추가 협상 타결
2011년 10월12일 美의회 비준
11월22일 韓국회 비준
▶ 협상개시
▶ 서명
▶ 발효
캐나다
EFTA(4개국)
▶ 2006년 1월
▶ 2005년 12월
▶ 2006년 9월
멕시코
중미(6개국)
콜롬비아
MERCOSUR
(4개국)
EU(27개국)
▶ 2007년 5월(협상 출범)
2009년 7월(협상 실질 타결)
▶ 2010년 11월(가서명)
10월(서명)
▶ 2011년 7월(잠정발효)
터키
이스라엘
GCC
(6개국)
인도
▶ 2006년 3월
▶ 2009년 8월
▶ 2010년 1월
몽골
중국
일본
ASEAN
(10개국)
▶ 2005년 2월
▶ 2006년 8월
(상품무역협정)
▶ 2007년 6월
▶ 2007년11월
(서비스협정)
▶ 2009년 5월
▶ 2009년 6월
(투자협정)
▶ 2009년 9월
인도네시아
호주
뉴질랜드
페루
▶ 2009년 3월
▶ 2011년 3월
▶ 2011년 8월
칠레
▶ 1999년 12월
▶ 2003년 2월
▶ 2004년 4월
싱가포르
▶ 2004년 1월
▶ 2005년 8월
▶ 2006년 3월
자료:외교통상부

日本モデルと通商国家論



小さい国内市場と高い海外依存度

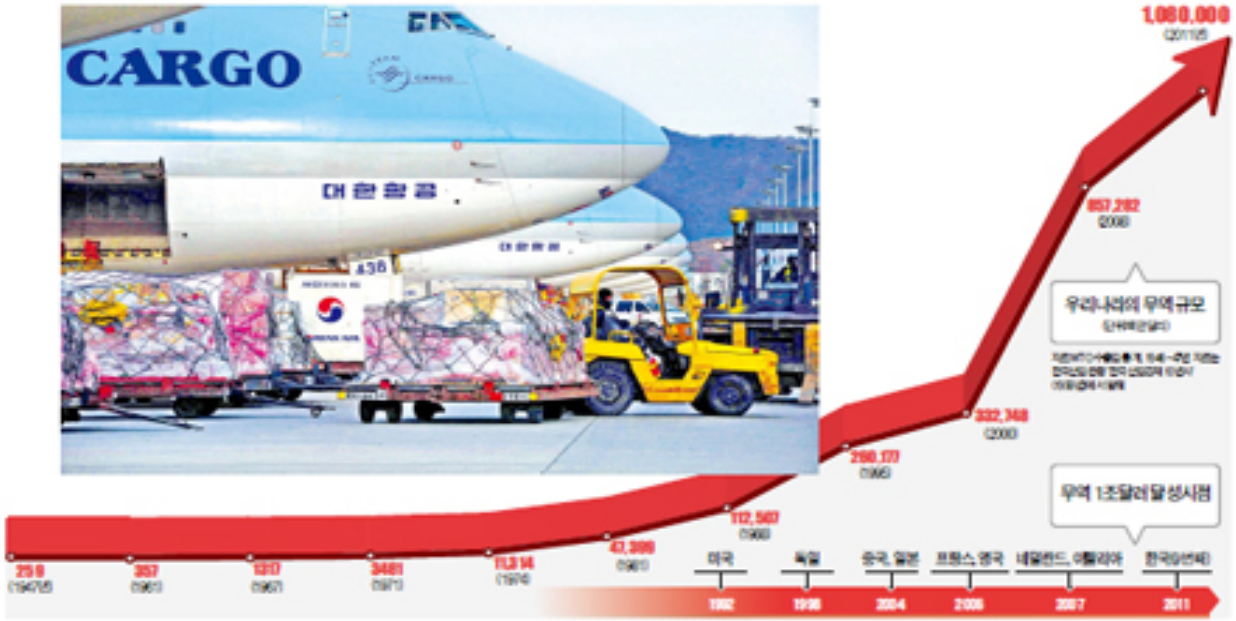


高い貿易依存度（日本22%、2010）

IMF経済危機とオープン化

- １９９７年の経済危機
- IMF要求
  - 外国人投資の自由化
  - 国際会計基準導入
  - 銀行と企業への政府関与禁止
  - 企業負債の圧縮と相互保証禁止

貿易1兆ドル達成


CARGO
대한항공
1,080,000
857,282
332,748
260,177
112,567
43,309
11,314
3481
1317
357
259
우리나라의 무역규모
무역 1조달러달성시점
미국
독일
중국, 일본
프랑스, 영국
네덜란드, 이탈리아
한국(6번째)
1992
1998
2004
2006
2007
2011

日本企業からの支援と一番弟子

会社名	設立年度	支援企業
サムスン電子	1969	三洋/NEC
LG電子	1958	アルプス電気
現代自動車	1967	三菱自動車
POSCO	1968	新日本製鐵

韓国企業のターニングポイント(1): 1990年代

- 日本のバブル崩壊と失われた10年
- 韓国のIMF経済危機
- 日本からの決別とGlobal Standardへ
  - リストラと中途採用
  - 実力主義と年棒制
  - MBOなど

韓国企業のターニングポイント（2）:1990年代

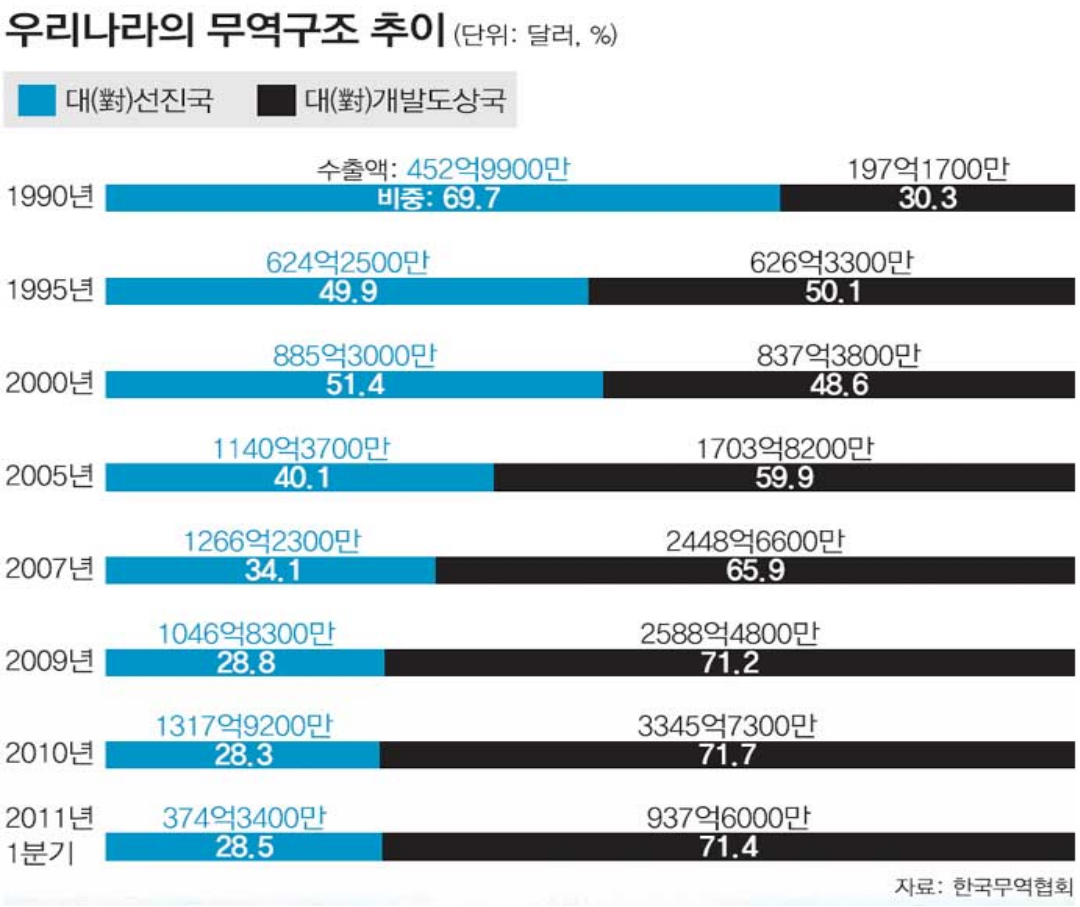
- デジタル時代の到来

- アナログ時代とキャッチアップの難しさ
  - 経験と熟練度
  - 職人の世界
  - すり合わせ技術と能力
- デジタル時代の決め手
  - モジュール化
  - そこそこの品質
  - スピード

韓国企業のターニングポイント(3): 1990年代

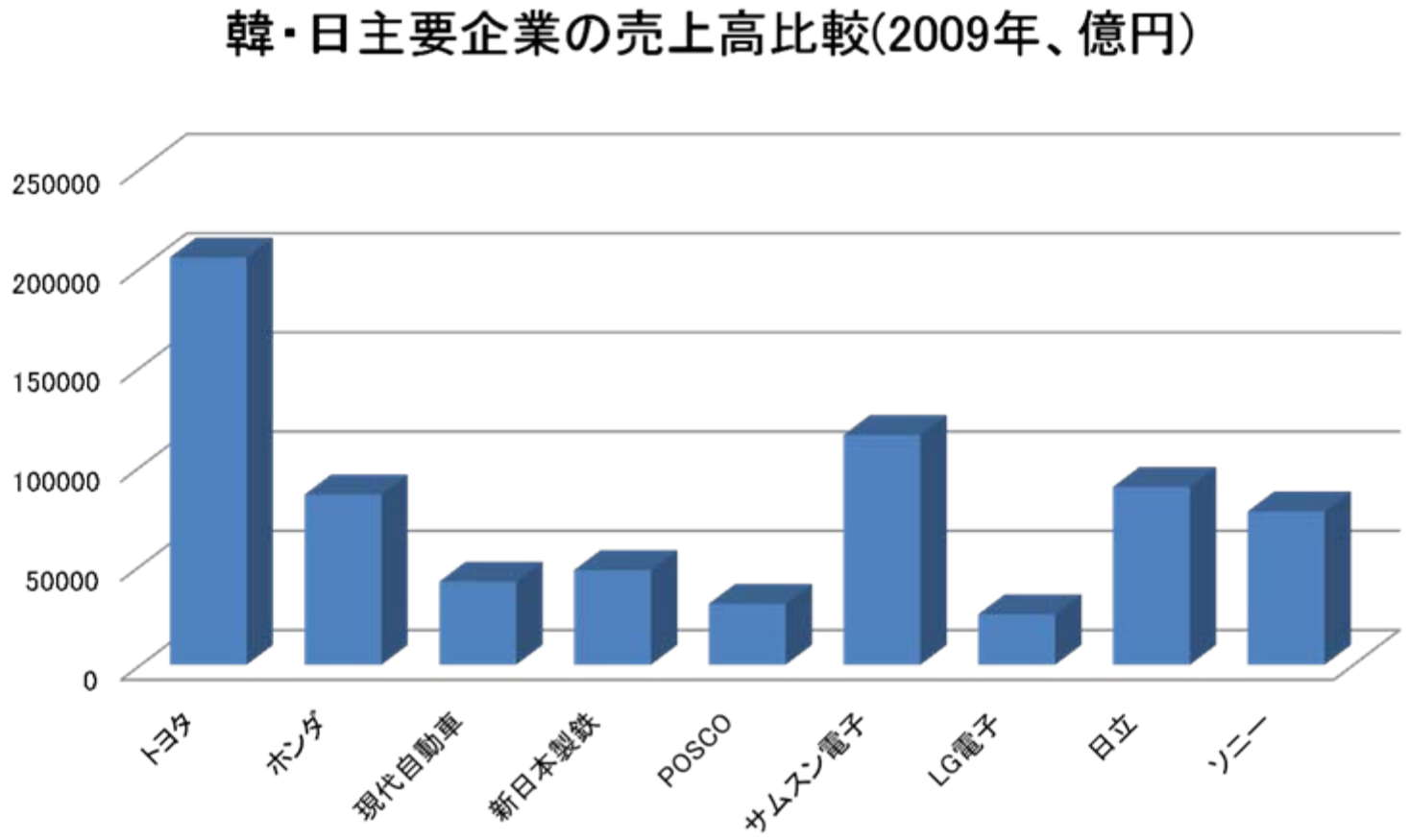
- グローバル化の波
- 日本企業を避け新興国へ
  - インド市場における三星とLG
  - 中近東における現代自動車
- 新興国というブルーオーシャン
  - Brics市場等

貿易中の新興国比率

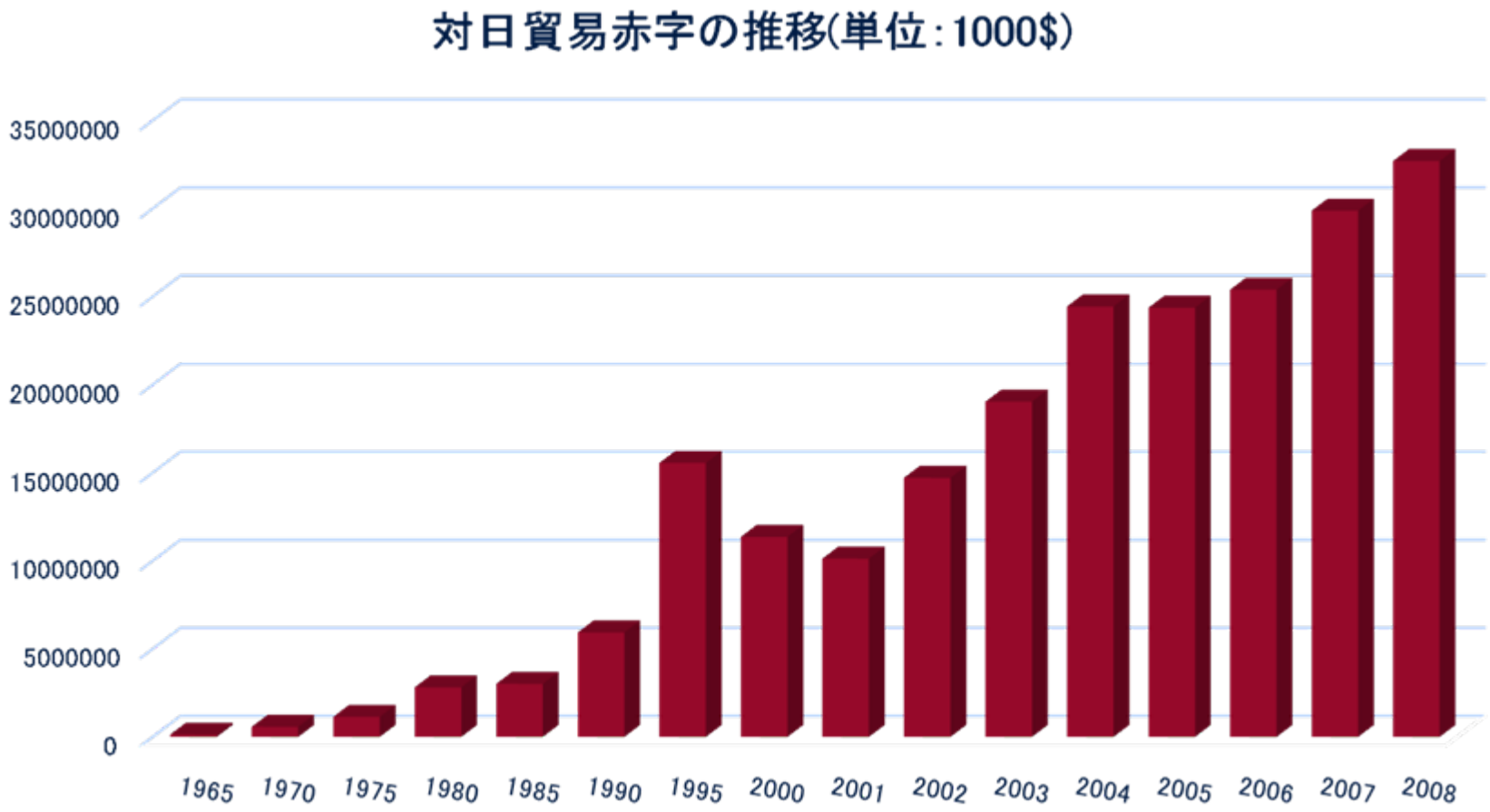

우리나라의 무역구조 추이 (단위: 달러, %)
대(對)선진국
대(對)개발도상국
1990년
수출액: 452억9900만
비중: 69.7
197억1700만
30.3
1995년
624억2500만
49.9
626억3300만
50.1
2000년
885억3000만
51.4
837억3800만
48.6
2005년
1140억3700만
40.1
1703억8200만
59.9
2007년
1266억2300만
34.1
2448억6600만
65.9
2009년
1046억8300만
28.8
2588억4800만
71.2
2010년
1317억9200만
28.3
3345억7300만
71.7
2011년 1분기
374억3400만
28.5
937억6000만
71.4
자료: 한국무역협회

まだまだ

- 50年対200年、3社対10社



外華内貧


対日貿易赤字の推移(単位:1000$)
35000000
30000000
25000000
20000000
15000000
10000000
5000000
0
1965
1970
1975
1980
1985
1990
1995
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008

6重苦の一つ

日本のEPA・FTAの現状

（2011年1月現在）

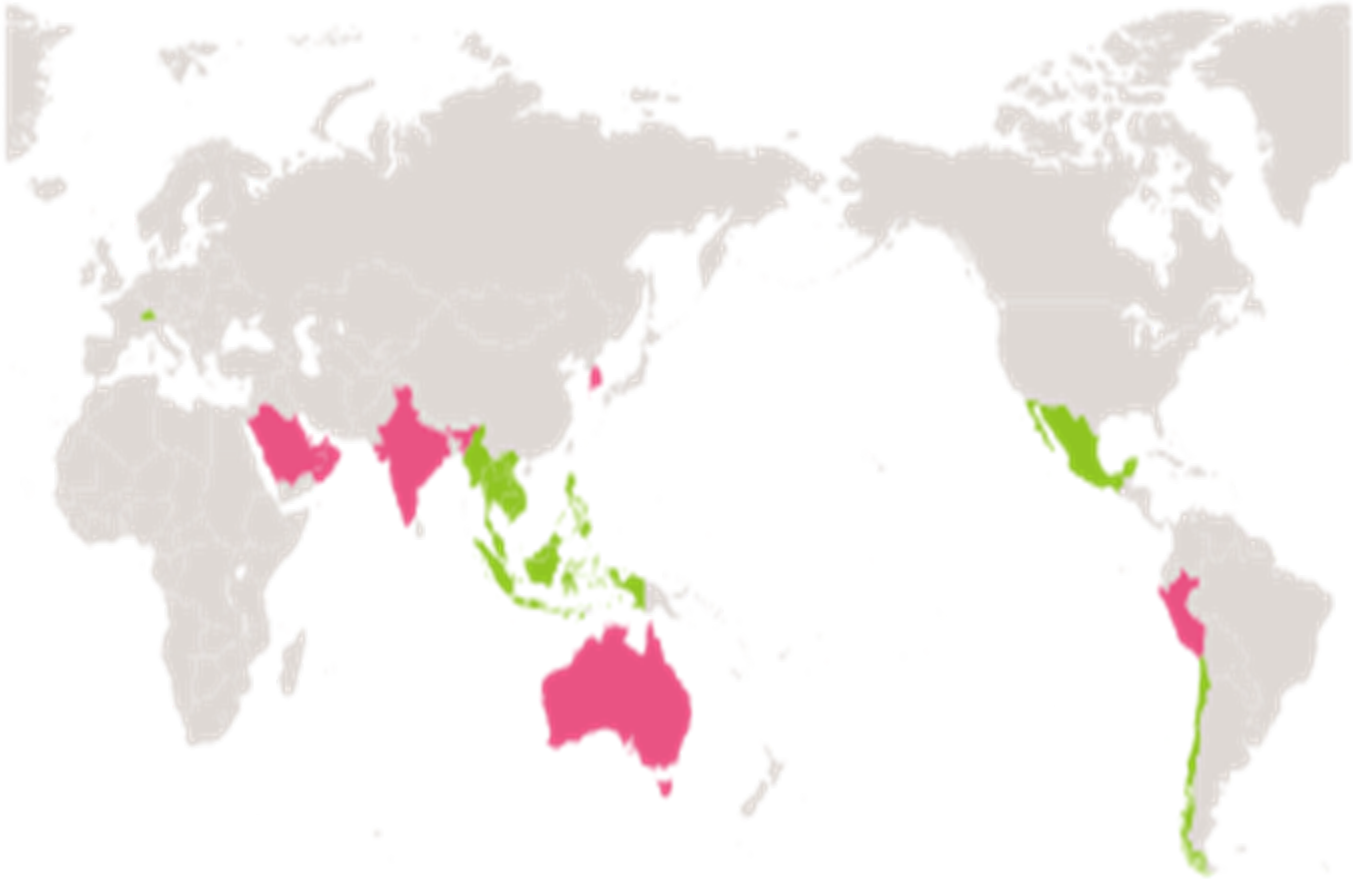
● 締結済▶11

シンガポール、メキシコ、マレーシア、チリ、タイ、インドネシア、ブルネイ、ASEAN全体、フィリピン、スイス、ベトナム

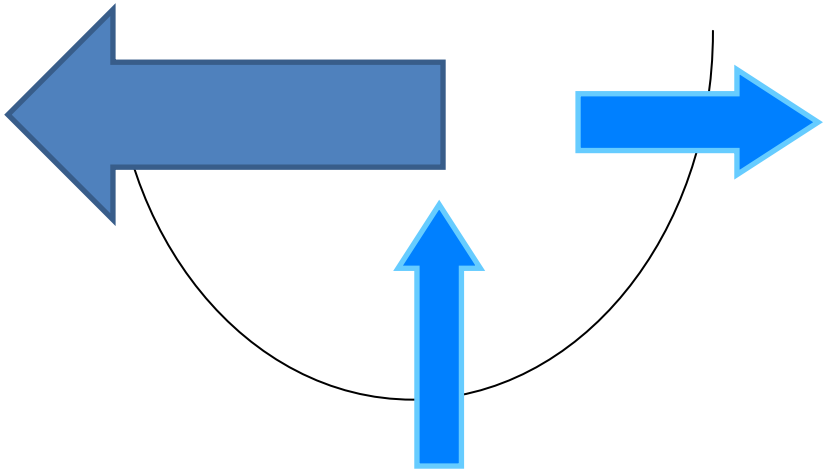
● 交渉段階▶5

（交渉完了・未署名含む）

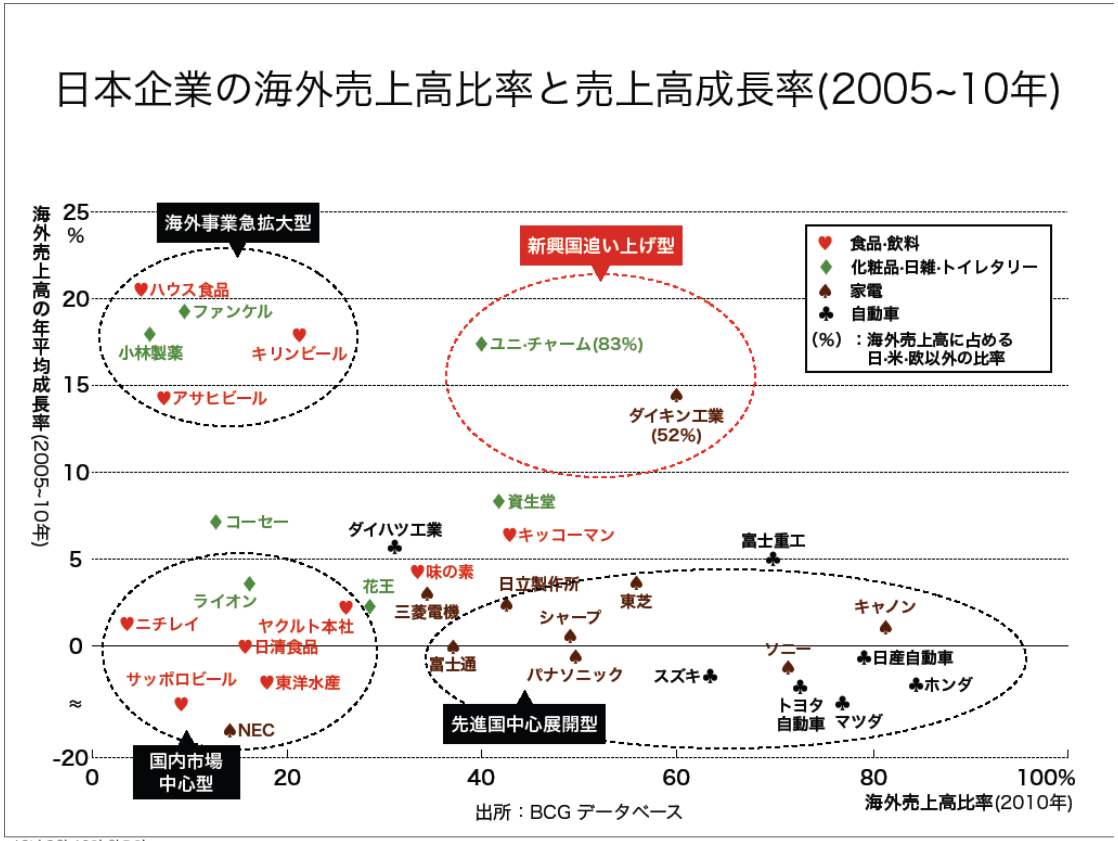
インド（交渉完了）、ペルー（交渉完了）、オーストラリア（交渉中）、GCC（交渉中）、韓国（交渉中断中）



日本企業の強み

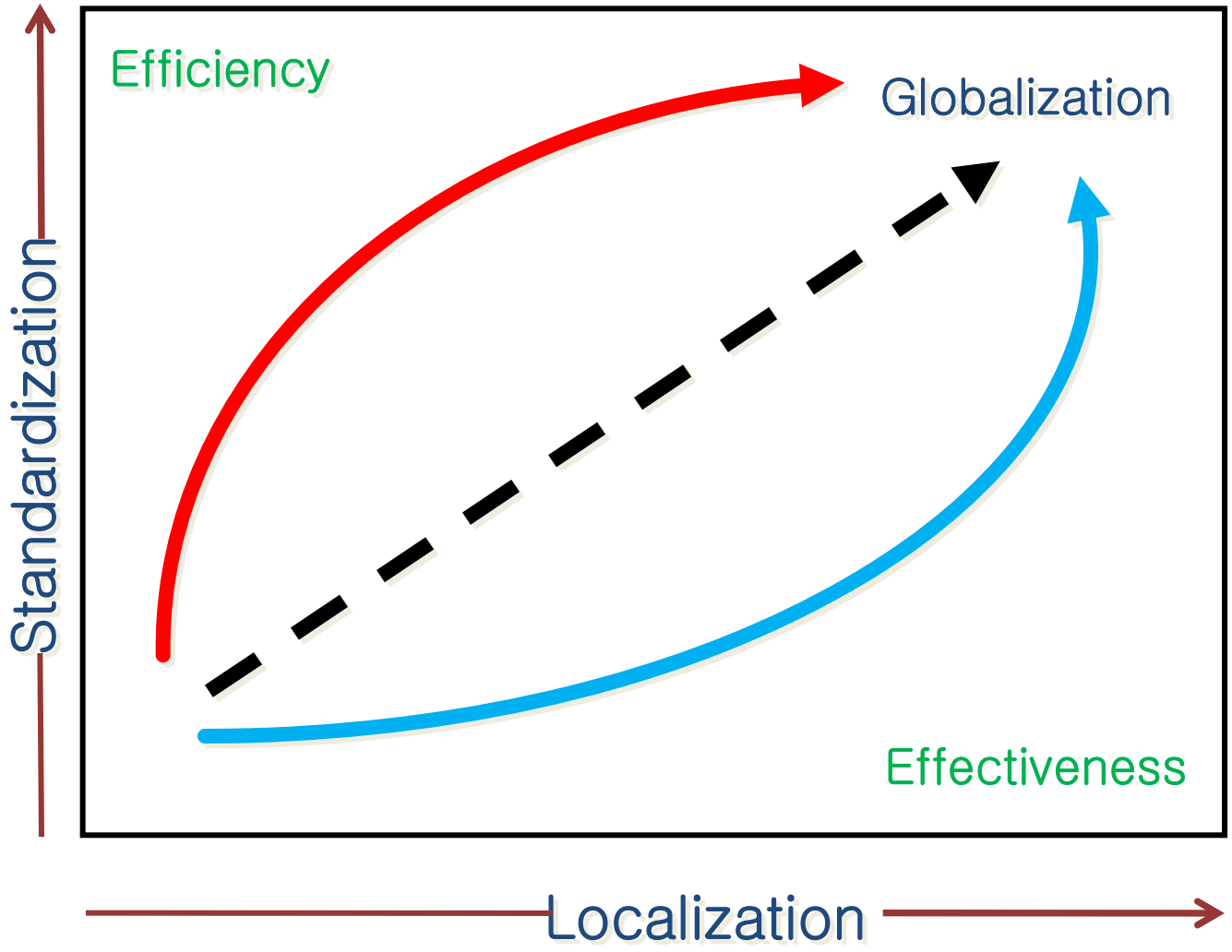


成功企業事例

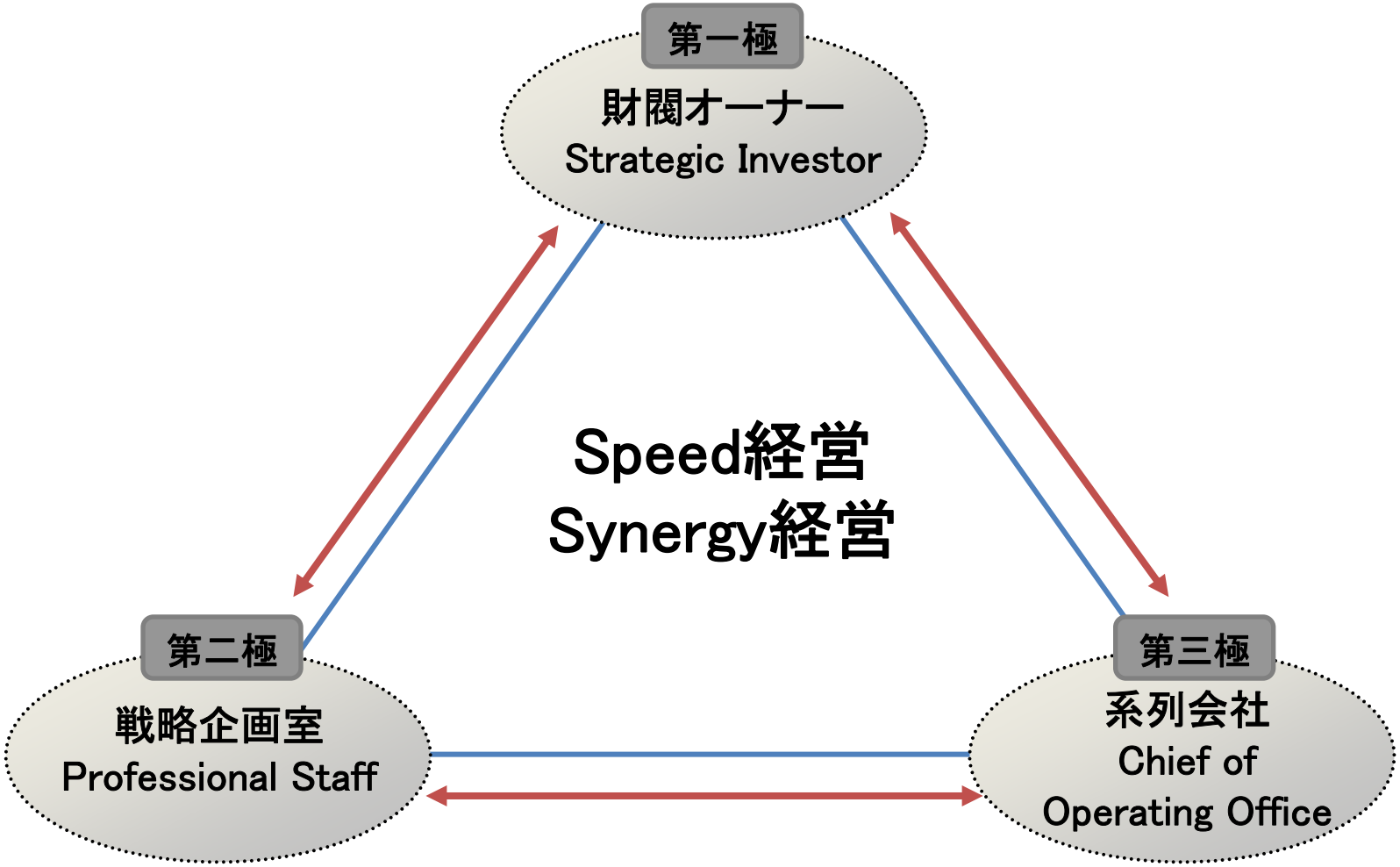


12년 3월 19일 월요일

国際化の美しい道


Efficiency
Globalization
Effectiveness
Standardization
Localization

意思決定のスピードアップ



グローバルリーダー育成

- 経営者の甘さ
  - 過保護と甘え
  - チャレンジ精神
- 語学能力重視
  - 三星の1000億円の教訓
  - 仕事能力
  - 地域専門家制度